

【マンツーマンコミッショナー運用規定】

栃木県ミニバスケットボール連盟 技術
平成29年度

1. 県連盟所属チームは、県連盟・地区連盟で開催される講習会・研修会に参加し、チーム帯同コミッショナーを配置しなければならない。承認は県連盟の発行のコミッショナーカードとする。
2. 試合前の準備・確認
 - 1) 試合が見渡せる場所にコミッショナー席を配置すること。
 - 2) 旗(黄色・赤色)・チェックシートを用意すること。
 - 3) 判定及び選手に意識を持たせる為、視覚的にわかりやすくコートにミドルラインを引く事とする。その場合、競技に支障がない色を使用する。(マッチアップエリアの3ポイントラインの確認)
3. 試合開始前に、両チームのコーチ・審判員に着席場所を伝えコミッショナーカードを提示すること。コミッショナーの配置は2名とする。(ゲーム中、コミッショナー席で旗担当は立って判定し、チェックシート担当は座って記入)
4. 試合開始前・終了時は審判に合わせて、起立し礼をすること。
5. 試合の判定は「マンツーマンディフェンス推進関連規定」に則り判定する。悪質な違反行為については、「黄色(注意)」の旗を振らずに、「赤色(警告)」の旗を上げることも可とする。(試合終了間際など含む。) 違反行為判定にあたっての留意点として体力・技術不足により故意ではない違反行為が発生する可能性もあるため、違反行為の判定にあたっては留意すること。
6. コーチのマナー違反(暴言等)については、審判員と連携しテクニカル・ファールを宣する。
7. 試合終了後、チェックシートをディレクターに必ず提出し内容を報告すること。